

執筆要項

(令和 8 年 6 月 29 日理事会決定)

(原稿の書式)

1. 原稿は、和文又は英文とし、本誌が定める原稿様式を用いて作成する。原稿は、A4 判横書き、全角 40 字 30 行を標準とし、本文は MS 明朝、数字および英字は Times New Roman を用いる。各ページの下中央にページ番号を付し、左余白に行番号（ページごとに振り直す）を付す。また、ヘッダー部分には 25 字以内のランニングタイトルを記載する。

(原稿の種類)

2. 原稿の内容は、体育・スポーツ科学の研究領域に関する総説、原著論文、研究資料、実践研究、事例報告とする。

総説とは、特定の研究領域に関する主要な文献内容の総覧であり、特定の視点に基づく体系的な内容のものである。

原著論文とは、科学論文としての内容と体裁を整え、新たな科学的な知見をもたらすものである。

研究資料とは、調査や実験の結果を主体にした報告などであり、客観的な資料としての価値が認められるものである。

実践研究とは、体育・スポーツ科学を実践する現場からの情報をもとにした研究であり、技術、教育、指導に関する実用的研究などが含まれる。

事例報告とは、体育・スポーツ科学に関連した特定の事例を詳細に調査研究し、その結果を報告するものである。

(原稿の分量)

3. 総説、原著論文、研究資料、実践研究および事例報告の原稿は、本誌指定のテンプレートを用い、本文、注記および引用文献を含めて 20 ページ以内とする。図表および抄録はページ数に含めない。

(図表)

4. 図表には通し番号およびタイトルを付し、引用文献の後に番号順に一括して掲載する。図表の挿入箇所は本文中に明示する。図表および写真は、掲載に耐えうる解像度及び品質を有するものとする。カラー図版および写真の掲載を認める。

(注記)

5. 注は、本文で説明することが適切でなく、補足的に説明することが必要なときだけに用

い、その数は最小限にとどめる。注をつける場合には、本文中のその箇所に（注 1）、（注 2）のように括弧で通し番号をつけ、本文と引用文献との間に一括して番号順に記載する。

（文献）

6. 本文中での引用文献の記載は、原則として著者・出版年方式（author-date method）とする。引用文献は、本文の最後に著者名のアルファベット順に一括して掲載する。引用文献の記載方法は、日本体育・スポーツ・健康学会『体育学研究』投稿の手引きに準ずる。

（抄録）

7. 英文抄録（Abstract）および和文抄録は、本誌が定める抄録様式を用いて作成する。英文抄録（Abstract）は 300 語以内とし、研究の目的、方法、結果等を簡明に記述する。和文抄録の字数は定めない。キーワード（和文 3～5 語）およびキーワード（英文 3～5 語）は抄録に記載する。

（原稿の標題ページ）

8. 原稿の標題ページには、原稿の種類（和文）、題目（和文）、著者名（和文）、題目（英文）、著者名（英文）、所属機関名および所在地（和文および英文）、ならびに第 1 著者の電子メールアドレスを記載する。所属機関名および所在地の前には、1）、2）のように半角括弧付きの番号を付し、各著者名の後に対応する番号を上付きで記載する。

（投稿時に提出する書類）

9. 投稿時には、次の書類を提出するものとする。

- （1） 標題ページ
- （2） 著者情報を削除した査読用原稿
- （3） 英文抄録（Abstract）および和文抄録
- （4） 投稿者用チェックリスト

※ （1）～（4）は、それぞれ別ファイルとし、Microsoft Word ファイルおよび PDF ファイルの両形式で提出すること。

※ 提出するすべての電子ファイルについては、ファイルのプロパティ等に含まれる個人情報を削除すること。

（謝辞、付記などの記載）

10. 謝辞、付記等は、公平な査読を期するため、投稿時には原稿から削除し、原稿受理後に記載するものとする。